

障がい者施策・安全で安心な三重のまちづくり・水道に関するeモニターアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
障がい福祉課	2019年10月16日から 2019年10月31日まで	1071	693	64%

県では、障がいの有無によって分け隔てられることのない共生社会づくりをめざし、「みえ障がい者共生社会づくりプラン」を策定し、計画的に取組を進めています。そのための基礎資料として、障がい者施策に関するアンケートを行います。（Q1～Q6の6問です。）

また、今年度、県民の皆さん等との協創による防犯・交通安全の取組の促進を目的とする「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム・第2弾」、犯罪被害者等支援の総合的かつ計画的な推進を目的とする「三重県犯罪被害者等支援推進計画（仮称）」の両計画の策定を進めているところです。両計画の策定時点における県民の皆さんの意識等を把握し、次年度以降の計画の進捗管理等に活用するため、アンケートを実施します。（Q7～Q12の6問です。）

大気・水環境課からは、水道に関する利用者の意識傾向や取組状況に対する利用者の考えを調査し、今後の水道行政の施策を進めるための基礎資料とするため、アンケートを実施します。（Q13～Q16の4問です。）

■ Q1 障がいの理解について

はじめに、障がい福祉課からお聞きます。
あなたは、障がいについて、どの程度理解していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	693	
障がいの種類や程度などを人に説明できる	150	21.6%
言葉の意味はわかるが、詳しい内容は知らない	459	66.2%
言葉を聞いたことがあるだけで、あまりわからない	67	9.7%
わからない	11	1.6%
その他	6	0.9%

■ Q2 障がいを知る機会について

あなたは、障がいや障がい者について、どこかで学んだり、聞いたりしたことはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	693	
家庭	167	24.1%
地域	136	19.6%
学校	237	34.2%
職場	263	38.0%
テレビ・新聞・雑誌	429	61.9%
インターネット	202	29.1%

県や市町のパンフレットやホームページなど	114	16.5%
その他	29	4.2%
わからない	13	1.9%
学んだり聞いたりしたことはない	43	6.2%

■ Q3 障がい者に対する差別・偏見について

あなたは、障がい者に対して差別や偏見の意識を持ったことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	693	
現在も持っていると思う	34	4.9%
そういう意識がないとは言えない	317	45.7%
過去に思ったことがあるが、今は持っていない	141	20.3%
そのような意識は持ったことがない	163	23.5%
その他	15	2.2%
わからない	23	3.3%

■ Q4 障がい者への差別・偏見のない社会について

あなたは、障がい者に対する差別や偏見のない社会になっていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	693	
そう思う	26	3.8%
どちらかといえば、そう思う	156	22.5%
どちらかといえば、そう思わない	295	42.6%
そう思わない	196	28.3%
わからない	20	2.9%

■ Q5 障がい者に対する理解について

あなたは、以前に比べて障がい者に対する理解が進んでいると感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	693	
感じる	104	15.0%
どちらかといえば感じる	432	62.3%
どちらかといえば感じない	80	11.5%
感じない	35	5.1%
わからない	42	6.1%

■ Q6 障がい者の施策推進について

障がい者に関する県の施策のうち、あなたが最も力を入れる必要があると思う分野は何ですか。あてはまるものを5つまで選んでください。

合計	693	
障がい者に対する理解を深めるための啓発・広報活動の推進	248	35.8%
障がいを理由とする差別の解消、障がい者の権利擁護	229	33.0%
点字や手話など意思疎通のための手段による情報保障	199	28.7%
建物・交通機関等の整備促進	398	57.4%
障がいのある子どもの相談・支援体制や教育の充実	351	50.6%
障がいに応じた職業訓練や障がい者雇用の充実	383	55.3%
障がい者に係る在宅福祉サービスの充実	182	26.3%
障がい者に係る施設サービスの充実	176	25.4%
障がい者に対する手当や助成制度等の経済的支援の充実	206	29.7%
障がい者に関するスポーツの推進	69	10.0%
ボランティアの育成や活動への支援	105	15.2%
その他	12	1.7%
わからない	21	3.0%

■ Q7 防犯・交通安全活動への参加について

ここからは、くらし・交通安全課からお聞きします。

あなたは、地域で行われている防犯・交通安全活動に参加されたことはありますか。

合計	693	
ある	221	31.9%
ない	472	68.1%

■ Q8 子どもの犯罪被害について

あなたは、地域の中で、「子ども」が犯罪被害から守られていると感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	693	
感じる	37	5.3%

どちらかと言えば感じる	293	42.3%
どちらかと言えば感じない	213	30.7%
感じない	66	9.5%
わからない	84	12.1%

■ Q9 女性の犯罪被害について

あなたは、地域の中で、「女性」が犯罪被害から守られていると感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	693	
感じる	11	1.6%
どちらかと言えば感じる	136	19.6%
どちらかと言えば感じない	324	46.8%
感じない	118	17.0%
わからない	104	15.0%

■ Q10 高齢者の犯罪被害について

あなたは、地域の中で、「高齢者」が犯罪被害から守られていると感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	693	
感じる	20	2.9%
どちらかと言えば感じる	191	27.6%
どちらかと言えば感じない	273	39.4%
感じない	128	18.5%
わからない	81	11.7%

■ Q11 身近な犯罪への対策について

あなたは、自身や家族が、「近年、県内で多発する犯罪等」（空き巣、忍込み、自動車盗、車上ねらい、部品ねらい、自転車盗、特殊詐欺※）に遭わないような対策（日頃の備えや心掛け等）ができていると感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※振り込め詐欺（オレオレ詐欺、架空請求詐欺、還付金等詐欺等）とそれに類似する手口による詐欺のこと

合計	693	
十分できている	11	1.6%
ある程度できている	275	39.7%
どちらともいえない	265	38.2%
ほとんどできていない	126	18.2%
全くできていない	16	2.3%

■ Q12 犯罪被害者等支援の相談窓口について

あなたが知っている犯罪被害者等支援の相談窓口はどれですか。あてはまるものすべて選んでください。

合計	693	
三重県の総合的対応窓口（環境生活部くらし・交通安全課）	110	15.9%
警察本部被害者支援室	180	26.0%
性犯罪被害相談電話 # 8 1 0 3（ハートさん）	55	7.9%
市町の犯罪被害者等支援総合的対応窓口	57	8.2%
公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター	45	6.5%
みえ性暴力被害者支援センター よりこ	65	9.4%
女性相談所	103	14.9%
児童相談所	342	49.4%
法テラス（犯罪被害者支援ダイヤル）	220	31.7%
津地方検察庁（被害者ホットライン）	42	6.1%
全国被害者支援ネットワーク（犯罪被害者等電話サポートセンター）	84	12.1%
どれも聞いたことがない	150	21.6%
その他	7	1.0%

■ Q13 水道料金に対する意識について

ここからは、大気・水環境課からお聞きします。

あなたが支払っている水道料金についてどう思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	693	
高い	177	25.5%
どちらかという高い	270	39.0%
ちょうどいい	147	21.2%
どちらかという安い	15	2.2%
安い	6	0.9%
わからない	78	11.3%

■ Q14 今後の水道料金の値上げに対する考え方について

水道料金の収入は、人口が減少することで減少していくため、今の水道施設を維持していくためには、これから水道料金を上げていく必要があります。水道サービス（例えば、断水が発生しない）を今までどおり維持するための値上げについて、あなたの考えにもっともあてはまるものを1つ選んでください。

合計	693	
----	-----	--

必要な水道料金は負担してもいい	76	11.0%
必要な水道料金は多少負担してもいい	219	31.6%
水道サービスを維持しながら、現在の水道料金を維持してほしい	365	52.7%
水道サービスが低下してもよいので、現在の水道料金を維持してほしい	14	2.0%
水道サービスが低下してもよいので、水道料金は今より安くしてほしい	19	2.7%

■ Q15 今後の水道料金の格差に対する考え方について

水道事業は、市町が経営しているため、水道料金は市町ごとに異なっています。最も高い市町の1ヶ月の水道料金は、最も安い市町の水道料金にくらべて約3.2倍となっており、今後は人口の減少にともない水道料金の格差は広がっていくことが予想されています。

このことについて、あなたの考えにもっともあてはまるものを1つ選んでください。

合計	693	
水道料金の格差は広がってもやむを得ない	83	12.0%
水道料金の格差はある程度あることはやむを得ないが、格差は少なくすべき	423	61.0%
水道料金の格差はないようにすべき	169	24.4%
わからない	18	2.6%

■ Q16 水道に望むことについて

あなたがお住まいの地域の水道について、望むことは何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

合計	693	
おいしい水の供給	201	29.0%
安全な水の供給	626	90.3%
災害時でも断水しないこと	319	46.0%
災害時に断水しても、給水車等で迅速に水を供給できること	277	40.0%
停電しても断水しないこと	214	30.9%
水道料金を安くすること	131	18.9%
環境に配慮した取組	88	12.7%
その他	9	1.3%